

旭川市嵐山レクリエーション施設の魅力向上に向けた  
サウンディング型市場調査結果の概要

1 調査の目的

本調査は、パークゴルフ需要の縮小に伴い、施設の利用者数が減少傾向にある旭川市嵐山レクリエーション施設において、民間事業者との対話を通じ、様々な視点から施設の現状や課題を把握するとともに、今後の施設活用や管理運営の在り方を検討するための情報を収集することを目的として実施したものです。

2 対象施設

旭川市嵐山レクリエーション施設（旭川市江丹別町嵐山）

3 調査の経過

| 日程           | 内容（カッコ内は参加事業者数） |
|--------------|-----------------|
| 令和8年3月3日（火）  | 実施要領の公表・配布      |
| 令和8年5月19日（火） | 現地見学会・説明会（1者）   |
| 令和8年7月27日（月） | サウンディング実施（1者）   |

4 サウンディングの参加者

1者（市内0者、市外1者）

5 サウンディング結果の概要

| 対話の項目          | 対話の概要                                                                                    |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設の現状について      | ・旭川市中心部からのアクセスや周辺観光地との連携のしやすさなど、都市近郊型アウトドア拠点としてのポテンシャルを評価。<br>・限定的な利用形態や利用期間が、収益性における課題。 |
| 市民サービス向上に向けた取組 | ・施設の再整備や多様なニーズ（ファミリー層や通年利用など）に対応したハード・ソフト両面での機能拡充が必要。                                    |
| 最適な運営方法について    | ・現時点の施設設備や利用形態では、コンセッション方式による独立採算制の管理運営は困難。                                              |
| 施設の管理運営への参画意欲  | ・なし                                                                                      |

6 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査を通じ、現行の施設設備や利用形態の維持を前提とした独立採算による民間移行は慎重を要するとの市場評価が示されました。一方で、都市近郊に位置する立地や豊かな自然環境等、本施設が有する潜在的な強みが確認されました。

これらを踏まえ、当面は現行の指定管理者制度を基本としながら、新たな施設の活用を検討するなど、魅力向上と利用促進を図るとともに、本施設の将来的な在り方について引き続き検討を進めてまいります。